

獨立混成第十五聯隊本部

21868

陣中日誌

1-30466
C. A. P. C. - C. I. C. P. A.
E-23634
OKINAWA 2 July

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票
防衛庁防衛研究所戦史室

表題	
整理番号	
作成の部隊 序・個人名等	
作成年月日	明治 昭和 年 月 日作成 自 年 月 日 至 年 月 日 の間に作成
史料 の内容	
備考 (本史料に 関する参考 事項を記す)	
史料 の 入手経路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で捕獲し、又は内地進駐後、陸海軍諸機関から押収した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊外フランコニヤ等の記録保管所に保管されていたが、米国務省に対する日本政府の返還要求に応じ昭和33年3月日本側に引渡され、同年4月横浜着、同月10日指定保管責任行たる防衛研究所戦史室の手に届したものである。
責任者 氏名	防衛庁防衛研究所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月調査

十二月一日
 一 略制一號ニ対峙準備
 二 略制一號ハ條制ニ對峙ノ爲ニ品物ヲ取テ出ル
 三 略制一號ニ對峙準備
 四 略制一號ニ對峙準備

對戰車内迫攻撃査閲實施計畫

昭和七年八月二十六日
 第一九〇一號

方針

戰車ヲ伴フ優勢ナル敵ニ對シ戰闘任務ニ基キ其ノ担任
 陣地ニ於テ如何ニ之ヲ擊滅スヘキヤニ関シ將校ノ指導
 能力及兵ノ現況ヲ檢シ以テ將來ノ教育訓練ニ資ス

著

1. 一人一合ヲ屠ルノ烈々タル体當リ自爆精神ノ發揮
2. 敵戰車突進路ノ綿密ナル偵察及適切ナル内攻位置ノ選定
3. 對戰車及隨伴歩兵制壓火器ト内攻班トノ密接ナル連繫
4. 現陣地ニ即應スル内攻壕ノ構築及兵個々ノ内攻諸動作
5. 創意工夫ニヨル各種資材ノ活用

眼

實 施 要 領

一、受閲計畫ノ細部ニ関シテハ右ノ著眼ニ基キ受閲部隊自己
 陣地ノ現況ニ即スル如ク中隊長及独立小隊長ニ於テ立案指
 導ニ任スルモノトシ

受閲計畫ハ各大隊長ヲ經テ受閲前々日一二〇。迄ニ本部ニ提出
 スルモノトス

二 査閲官及補助官

聯隊長

岡澤大尉 藤本中尉 柴田中尉 石井少尉

坂口准尉 所田軍医中尉 傳令 三

三 各補助官ハ現地ニシキ事前ニ立案者ト協議シ指導ヲ適正
 ナラシムヘシ

四 服装 其他

服装ハ背囊及被甲ヲ除ク軍装トス

査閲官臨場時兵ハ戰闘配置ニマシモトシ其場ニ於テ起立セ
 ン敬禮ス

尚臨場ト同時ニ受閲シ得ル如ク兵ニ對シテハ事前ニ

想定教令其他諸注意事項ヲ徹底シ置クモノトス

四 服装 其他

服装ハ背囊及被甲ヲ系ク軍装トス
 查閱官臨場時兵ハ戦闘配置ニマシテ其場ニ於テ起立セ
 ンテ敬禮ス

尚臨場ト同時ニ受閱シ得ル如ク兵ニ對シテハ事前ニ
 想定・教令其他諸注意事項ヲ徹底シ置クモトス、
 五 講評ハ查閱終了後現地ニ於テ実施シ大隊長ハ所見ヲ述
 ルモノトス

總評、時期ハ別命ス

六 查閱實施順序

查閱實施順序

查閱日時	查閱部隊	查閱場所	指示事項
〇八〇〇	第二中隊 速射砲中隊 一小隊	伊野波會陣地 滿名部落	高中隊連繫動作 ヲ加味ス
一〇〇〇	第三中隊 大野小隊	屋比久原高地	
一一一〇	第一中隊 一小隊	〇二七高地	晝食携行トス 謝花校
一二一〇	第一中隊 第一機關銃中隊 聯隊砲中隊	△三五八五東麓附近 内當北方IA陣地附近	MGハIA及第一中隊ノ 戰鬥ニ協同ス 晝食携行トス
一二三〇	二兵 藤本小隊	北山城趾南麓附近	△三五八五東麓附近
一三二〇	一中隊 第二機關銃 一小隊	兼次前進陣地	
一四〇〇	第六中隊 森阿小隊	平敷前進陣地	晝食携行トス 玉城部落
一五〇〇	第五中隊	乙羽岳及	

義井小隊
乙羽岳及
乙羽岳東方立折道附近
陸名原陣地附近

第五師司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

司令部

第五師司令部

獨立混成第十五聯隊命令 第三〇二〇地

一 旅團之旅團主力上第二步兵隊間、物資之輸

送及輸送機關取締、爲之護及旅團之

二 連級所ヲ設置ス

三 聯隊本部兵力ヲ旅團之連級所要員トシ

テ派遣セントス

三 第一大隊長ハ旅團之連級所要員トシテ將

校ニ下士官一兵五ヲ十二月四日一二〇〇旅團之

農林學校ニ派遣スヘシ

四喜子新連終所 報告 一月シス 松井中尉
指示ヲ受クベシ

獨立混成第十五聯隊長 美田大佐

下違法 要旨電話后印刷交付

既布失 各隊

報告通報失 44/68 第三步兵隊

十二月三日 一一三〇。御下賜品煙草傳達式舉行 並ニ

曇 電報發信一同 着信ニ 五 齋 齋

渡 久地 同 齋 本 齋

受 領 獨立混成第十五旅團命令 為 齋 齋

獨立混成第十五旅團命令 為 齋 齋

一 旅團ハ新防衛擔任地域ニ移駐スルニ據ル

二 各部隊ハ別稱移駐計畫ニ基キ新防衛地ニ

轉移スヘシ 新軍少將 大 齋

新軍團長 鈴木少將

印刷交付 齋 齋

配布先 齋 齋

日 命 第一五 齋 齋

齋 齋 齋 齋

齋 齋 齋 齋

獨混五種命第一號

獨混五種命第二號

日命第一五號

獨混五種命第一號
獨混五種命第二號
日命第一五號
十二月三日

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

陸軍少尉 西村信義

十二月三日

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

叙正八位(八月(附)

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

陸軍少尉

高橋 繁

湯川 入清

笠 鳥吉

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

佐藤 高

藤 本武雄

陸軍伍長

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

陸軍伍長

陸軍伍長

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

陸軍一等兵

陸軍上等兵

陸軍一等兵

陸軍一等兵

藤原國清
空市謙午
機本正
新保正
信藤男
柳山外
高橋文夫
三橋文夫
春藤
曾田
丹波
佐野
高橋

荒本未依

渡邊東

真藤五

高橋彌三郎

村野金次郎

佐藤木繁

中井清之

出田三郎

野崎真樹

佐藤正雄

原田吉

赤川懋太郎

島中

村田

田後造

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

陸軍伍長

下士官糧秣	命令	六月二十一日	鈴木一
二等中尉	空軍		鈴木一
對海陸士官糧秣	命令		
下士官糧秣	空軍		曾田光
同	同		鈴木和良
同	同		大井善助
同	同		野田
同	同		野田

獨立混成第十五聯隊命令

第一 新態心勢轉移為第一次輸送船トシテ名瀨丸(三〇七)本三日止午頃渡久地港ニ入港ス

第二 聯隊ハ名瀨丸碇泊間對空掩護ニ任スルト共ニ本部及第三大隊ノ材料資材ノ部ヲ新移駐地ヘ輸送セントス

第三 第三大隊長ハ將校一名ヲ本三日止午迄ニ本部國民學校ニ送ル

第四 名瀨丸ノ荷物搭載及卸下ニ任セシムヘシ

第五 各隊ノ荷物搭載卸下及監視ハ為左記人員ヲ本三日止午迄ニ本部

渡久地 三三六六地

國民學校ニ差出シ第三大隊ヨリ差出ス將校、指揮下ニ入ラシム
ベシ

左記

- 聯隊本部 下士官 一
- 第七中隊 二分隊
- 第八中隊 二分隊
- 第九中隊 二分隊
- 第三機銃中隊 一分隊
- 聯隊砲中隊 下士官 一 兵 五
- 速射砲中隊 下士官 一 兵 五
- 工兵中隊 下士官 一 兵 五

六、材料掛將校ニ荷物搭載ニ関シテ工兵隊野戰病院、旅團砲兵隊ト
連絡スルト共ニ嘉手納到着后嘉手納連絡所ニ連絡シ材料資材ヲ
新移駐地ニ分散集積スベシ

七、予八本部國民學校ニ在リ
獨立混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨電話后印刷交付
配布先 各隊

獨渡五作命第八三號

獨文混成第十五聯隊命令 渡 三三三

一、聯隊ハ新移駐地、偵察及數營ノ為一部ノ兵

力ヲ派遣セントス

二、本部及第一大隊各獨立中隊ハ左記人員ヲ十二月

五日本部ニ差出シ自動車ニ依リ新移駐地ニ

先行セシムベシ

左記

- 聯隊本部 渡士官以下 一三名
- 大隊本部 大隊長 下士官 一 兵 一

各中隊長 各中隊長 下士官(兵二)

大隊長八一泊、後歸還スベシ

三第二、第三大隊、陣地偵察及先發着、派遣ニ関

シテハ別命ス

獨文混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ后印刷交付

配布先 各隊 第二步兵隊

シ

十二月四日 一、重機槍隊團司令部ヨリ松井中尉連絡船ヲ為シ、

渡久地 晴 二、機中為、新三乘輪送船トシ、瀬名瀬丸及港

受領 三、獨文混成第十五聯隊司令部ニ基キ各資材、材料、新移駐

獨混司令部ヲ為シ、

各部隊ハ移駐伴日々其ノ配備ニ就ク

移駐第一日ハ十月廿六日トス

予ハ十二月八日、獨混司令部(島袋南)方ニ軒屋、南

下達法 各隊長、要旨口達后印刷交付

旅團長 鈴木少將

下達命令
獨立司令部第八三號
日命第二六號

類書通釋元 湖 陸軍部 陸軍准尉 湯原清

獨立混成第十五聯隊日日命令 十一月四日

陸軍准尉 湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

湯原清

十二月四日

第三中隊 陸軍曹長 阿部源治

第八中隊 同 今井誠之助

第五機關銃隊 同 三浦綾雄

速射砲中隊 同 相澤太三郎

第一大隊本部 同 青木友治

第六中隊 同 内藤久雄

聯隊本部 同 伊上藤英雄

第五機關銃隊 陸軍軍曹 市川正三郎

頭書ノ本部中隊附ヲ命ズ(以上何レモ十一月一日附)

仍而二三項中入替ヲ要スルモノハ移駐後行フモノトス

陸軍准尉 仲本秀男

聯隊本部勤務ヲ命ズ(十一月一日附)

陸軍伍長 登山謙一

陸軍伍長 登山謙一

陸軍伍長 登山謙一



陸軍省陸軍部陸軍監獄司監獄長官命令(十一月一日)

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

監獄監獄長官 監獄監獄長官 監獄監獄長官

獨立混成第十五聯隊

獨立混成第十五聯隊命令

一三四。八。地

一旅團、新防衛担任地區ニ移駐ス

二聯隊、別冊移駐計畫ニ基キ新防衛地區ニ轉移セトス

轉移爲久日ハ別命スルモ十月十日ニテニ移駐準備ヲ完了スベシ

三名隊、別冊移駐計畫ニ基キ新防衛地區ニ轉移スベシ

四第二大隊、座喜味到着後旅團ノ指揮下ニルベシ

獨立混成第十五聯隊長 美田 大佐

下達法 印刷交付

配布先 各隊

報告通報先 第ニ步兵隊

獨立混成第十五聯隊移駐計畫

第一 方針

聯隊ハ極力企圖ヲ秘匿シ情勢即應ノ態勢ヲ以テ新防衛担任地
域ニ轉移ス
之ガ爲主カハ又日夜行動ヲ發起シ夜間機動ヨリ又日未明迄ニ新
守備地ニ於ケル配備ニ就ク

第二 實施要領

- 一 本部各隊ハ轉移開始迄ニ所要ノ人員ヲ先發セシメ新守備地區ノ諸
準備ニ任ゼシム
 - 二 聯隊ノ行動要領 別紙第一ノ如シ
 - 三 各隊ハ殘置諸物件ノ監視及殘務整理ノ爲所要ノ人員ヲ殘置ス
ルコトヲ得
- 殘置セル場合ハ人員場所ヲ報告スベシ

四 通信班長ハ輸送間聯隊本部ト主力トノ通信連絡ニ任ス

三 兵器彈藥

彈藥ハ對空射撃及轉移直后ノ作戰ヲ考慮シ一銃(一門)左記標
準ニヨリ携行スルモノトス

左記

- 小銃 一・二〇發
- 輕機 三六〇
- 重機 一・二〇
- 速射砲 三〇
- 聯隊砲 四〇

六 糧秣

各隊機動間、給養ハ自隊携行糧秣ニ依ル但シ生糧品ハ第
三十一野戰貨物廠ヨリ補給ヲ受クルモノトス

糧秣中米砂糖食塩馬糧(濃厚飼料)ハ第三十四師團及第六十
二師團ヨリ引継ぎ得ルモ其他ノ糧秣ハ一切携行スルモノトス
給養裝備別紙第二ノ如シ

七 衛生

機動間衛生部員ハ部隊ト同行シ救護ニ任ズルモノトス
各護附近ニハ野戰病院ノ救護所開設セラル、甚
ニ家ハ新防衛担任地域内ニ傳染病發生シアル現況ニ鑑ミ去水
ノ飲用ヲ禁ジ湯茶ノ供給ヲ停止シシムベシ
八 轉移后ニ於テル配宿區分第三ノ如シ

機動實施要領

要領

一機動間對空及海上監視ヲ至嚴ニシテ常時對空射撃部隊ヲ準備シ敵ノ
 上陸攻塵ニ即應スルノ態勢ニ在ルモノトス
 二各隊ハ機木中隊毎ニ集結シ距離五〇米ヲ間シ空爆ノ損害ヲ減少ス
 三昼間、休止間ニ於テハ對空遠敵ヲ十分ナラシム

部隊名	第一日	又日	距離	第二日	又日	距離	第三日	又日	距離
要領	一機動間對空及海上監視ヲ至嚴ニシテ常時對空射撃部隊ヲ準備シ敵ノ上陸攻塵ニ即應スルノ態勢ニ在ルモノトス 二各隊ハ機木中隊毎ニ集結シ距離五〇米ヲ間シ空爆ノ損害ヲ減少ス 三昼間、休止間ニ於テハ對空遠敵ヲ十分ナラシム								
部隊名	第一日	又日	距離	第二日	又日	距離	第三日	又日	距離
〇	一九〇。渡久地奈 又日天明迄ニ許田ニ 前進ス	又日	24K	許田ニ宿營ス 一九〇。許田出奈又日 迄ニ富着ニ前進ス	又日	27	富着ニ宿營 一九〇富着出奈天明 迄ニ富着ニ前進ス 野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務 ニ就ク	又日	26K
I	謝花出奈又日天明 迄ニ幸喜ニ前進ス	又日	29.5K	幸喜ニ宿營ス 二八三〇。幸喜出奈又日 天明迄ニ前兼久ニ前 進ス	又日	24.5K	前兼久ニ宿營 二八三〇。前兼久出奈天 明迄ニ前兼久ニ前進ス 納野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務 ニ就ク	又日	26.5K
II	二〇〇〇。今歸仁出奈 又日天明迄ニ吳我山 ヲ怪テ許田ニ前進ス 前進ス	又日	28K	許田ニ宿營ス 二二〇〇。許田出奈又日 天明迄ニ谷茶ニ前 進ス	又日	23K	谷茶ニ宿營 二二四〇。谷茶出奈天 明迄ニ座喜味ニ到リ 新任務ニ就ク	又日	14K
III	二一八〇。渡久地出奈 又日天明迄ニ喜瀬ニ 前進ス	又日	27K	喜瀬ニ宿營ス 二一八〇。喜瀬出奈又日天 明迄ニ仲泊ニ前進ス	又日	27K	仲泊ニ宿營ス 二一八〇。仲泊出奈天明迄 ニ仲泊ニ前進ス 野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務ニ 就ク	又日	23K
IA	二二〇〇。渡久地奈第一 大隊ニ續行又日天明 迄ニ幸喜ニ前進ス	又日	26K	幸喜ニ宿營ス 二一八三〇。幸喜出奈速野 砲ニ續行又日迄ニ前 兼久ニ前進ス	又日	24.5K	前兼久ニ宿營 二一八三〇。前兼久出奈天 明迄ニ前兼久ニ前進ス 納野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務 ニ就ク	又日	26K
TA	二二〇〇。渡久地奈第一 大隊ニ續行又日天明 迄ニ幸喜ニ前進ス	又日	26K	幸喜ニ宿營ス 二一八三〇。幸喜出奈速野 砲ニ續行又日迄ニ前 兼久ニ前進ス	又日	24.5K	前兼久ニ宿營 二一八三〇。前兼久出奈天 明迄ニ前兼久ニ前進ス 納野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務 ニ就ク	又日	26.5
P	二一八〇。渡久地奈第一 大隊ニ續行又日天明 迄ニ喜瀬ニ前進ス	又日	27K	喜瀬ニ宿營ス 二一八〇。喜瀬出奈又日天 明迄ニ仲泊ニ前進ス	又日	23K	仲泊ニ宿營 二一八〇。仲泊出奈天明迄 ニ仲泊ニ前進ス 野里ニ島袋道ヲ前 進シ島袋ニ到リ新任務 ニ就ク	又日	23K
備考	一又日十二月八日以前ナル時ハ各隊長ハ新防衛地ニ先行シ 部隊ハ先任者指揮スルモノトス								

糧秣給養食裝備

方備	部 隊 裝 備										個 人 各 馬 裝 備																		
	馬	糧								携帶馬糧	携 帶 口 糧																		
		糧	加給品		調味品		副食品		主食		其他	副食		乙	甲	區分													
一 部 隊 裝 備 八 本 表 示 以 外 或 多 携 行 入	馬糧	又 八 酒 類	甘 味 品	煙 草	粉 正 油	粉 味 噌	漬 物 類	乾 物 類	缶 詰 類	乾 豆 類	精 米	携帶馬糧	其 他 甘 味 品	食 鹽	砂 糖	携帶詰	乾 豆	精 米	區分	品	種	數	量	單位	日	量	備	要	
	五日分	五日分	五日分	十日分	五日分	十日分	十五日分	十日分	十五日分	十日分	五日分	三日分	若 干	三日分	三日分	三日分	二日分	一日分											
	瓦	立瓦	瓦	本															瓦										
	四二〇〇	〇三	一 二 〇 七		三 〇	三 〇	一 二 〇	一 〇 〇	一 五 〇	六 九 〇	七 〇 五	四 二 〇		一 二 〇	五	二 〇	一 五 〇	六 九 〇	六 一 〇										
	<p>携帶、尋茶、尋豆、代用、 、曠、于、津、備、入 乾野菜、海藻、其他、適量 梅干、梅干、梅干、八日量 四五瓦、入</p>																												

十二月五日

一。六。〇。名瀬丸出帆

六二

曇

二。七三。部隊集積地附近、移駐に伴、荷物分

渡久地

駐集積地視察

三。八。〇。部隊司令部受領、高名護旅團司令部

出帆表外陣軍曹

四。獨混五作司令部、機材等、以

外、第壹大隊長、第貳大隊長、各中隊長、獨立中隊長、新移

駐地ニ出發、新軍曹

無

五。輕便野戰衛生、通信各機關、一部ヲ先發セシム

六。第一、第三大隊、通過隊員トシテ、分遣アリ、以兵力

増強

七。各大隊副官、各中隊長、隊將、校、集、合、移、駐、関、指

示、各隊、出、帆、表、外、陣、軍、曹、日、命、令

十二月五日

日命第二四號

別紙

獨立混成隊第八號
日命第一七號

獨立混成第十五聯隊日日命令

十二月五日

陸軍衛生部長 野村俊人

任陸軍衛生准尉

陸軍經技軍曹

任陸軍經技軍曹長

陸軍衛生軍曹

任陸軍衛生軍曹長

任陸軍經技軍曹長

任陸軍經技軍曹

任陸軍衛生軍曹長

任陸軍衛生軍曹

十二月五日

任陸軍衛生伍長

陸軍衛生准尉

陸軍經技軍曹

陸軍衛生軍曹長

陸軍經技軍曹

陸軍衛生軍曹

陸軍衛生伍長

同

補獨立混成第十五聯隊附

八聯隊本部

同

陸軍衛生軍曹長

陸軍技術軍曹

陸軍技術軍曹

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

野村俊人

第一師團長	陸軍少將	栗田健男
第二師團長	陸軍少將	坂井三郎
第三師團長	陸軍少將	坂井三郎
第四師團長	陸軍少將	坂井三郎
第五師團長	陸軍少將	坂井三郎
第六師團長	陸軍少將	坂井三郎
第七師團長	陸軍少將	坂井三郎
第八師團長	陸軍少將	坂井三郎
第九師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十一師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十二師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十三師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十四師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十五師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十六師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十七師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十八師團長	陸軍少將	坂井三郎
第十九師團長	陸軍少將	坂井三郎
第二十師團長	陸軍少將	坂井三郎

獨混五作命第八四號

獨立混成第十五聯隊命令

五二四〇地

- 一 聯隊八旅團防衛作戰計畫大綱ニ基キ新配備ニ就カントス
- 二 移駐第一日ハ十二月六日トス
- 三 第二第三大隊長及第二第三大隊各中隊長ハ新陣地偵察ニ爲十二月七日〇八〇〇本部國民學校ニ集合シ自動車ヨリ新移駐地ニ先行スベシ
- 四 中隊長ハ下士官一兵ニラ同行セシムベシ
- 五 各隊ハ獨混五作命第八三號別冊移駐計畫ニ基クベキモ各中隊長ハ指揮スル約一々小隊ヲ現守備地ニ残置シ何物

ノ追送ニ任セシメタル后ヲ荷物ト共ニ成ベク速ニ新移駐地ニ追及ス
セシムベシ

五、聯隊砲中隊ハ小隊長ノ指揮スル一分隊ヲ部隊ニ同行セシメ主力
ハ船舶輸送ニヨルモノトス

六、速射砲中隊ハ小隊ヲ部隊ニ同行セシメ他ハ船舶輸送ニヨルベシ
七、本部及各部隊ニ携行糧秣輸送ノ爲荷馬車各ニヲ配當ス
荷馬車ハ明六日一五〇〇各露營地ニ於テ交付ノ筈

八、各大隊ハ新移駐地ニ於ケル糧秣其ノ他引継物件受領爲
將校一ヲ明后七日〇八〇〇本部國民學校ニ差出シ移駐地ニ

先ヲ行セシムベシ

近ニ前進セシメテ荷物集結后ハ本部國民學校ニ宿營待機
スベシ

十、藤本中尉ハ残留者ノ指揮官トナリテ荷物ノ追送ヲ區處スベシ
十一、第一第三大隊ヨリ下士官ノ指揮各三十名ヲ十二月七日朝食后
本部國民學校ニ差出シ藤本中尉ノ指揮下ニ入ラシムベシ
十二月七日。九〇〇。渡久地發新移駐地ニ到ル

獨立混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ后印刷交付

配布先 各隊
報告通報先 第二歩兵隊

十二月六日
兩
渡久地

一、化學戰教育ノ爲習志野學校ニ派遣中ノ園田少尉
一〇〇〇異常ナク歸隊

二、四〇野崎大尉以下七名新移駐地ノ偵察ヨリ歸隊
三部隊ハ移駐ヲ開始ス

四、獨混五作命第八四號ニ基キ各隊豪雨ヲ衝キ夜行軍ヲ
以テ夫々新仕地ニ向ツテ出發

五、輸送情況表別紙ノ通り
六、内當大嵐方面通掩^掩設人員撤收

七、島袋ニ先着セル通信班、一部ハ直ニ旅團交換ニ加
入連絡ヲ確保

兵器委員亦彈藥洞窟ノ位置決定、各關係何レ
モ活潑ニ活動開始

八、一八〇兩中行軍ノ爲司令部ヨリ被服乾操用木
炭受領直ニ行軍中ノ各隊ニ支給

美田

十二月六日 熊久地

人員補給計表		計	備
第一夜	出發	100	
第二夜	出發	18	
第三夜	行軍	135	
第四夜	宿營	120	
第五夜	宿營	17	
第六夜	宿營	278	
第七夜	宿營	1	
第八夜	宿營	1	
合計		750	
		1441	

第一夜、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

十二月七日

雨 渡久地

- 一、築城資材彈藥遂次渡久地ニ集積
- 二、行軍主力ハ許田附近ニ宿營
- 三、島袋ニ於ケル設營作業ハ屢次ニ亘ル宿營地
區變更ニ妨ゲラレ遲々トシテ進行セス
- 四、明確ナル上級司令部ノ意圖下達ノ要ヲ痛感ス
行軍主力ハ再び夜行軍ヲ開始
天候依然トシテ回復セス



十二月廿日
蘇久出

一 築好資材車運送々々蘇久出ニ集積
二 行軍主カハ梅田柳並ニ前送
三 息谷ニ於テハ船ヲ引キテ川ノ下ニ渡ル
四 行軍主カハ再々行軍ニ準備
五 陽部ノ上ニ於テハ船ヲ引キテ川ノ下ニ渡ル
六 運送更ニ改メテ 船ヲ引キテ川ノ下ニ渡ル

十二月八日

一 行軍主カハ前兼久及仲泊ニ宿營
二 雨ニ。三三。丙號隊備下令セラル

沖繩縣中頭郡中城村
島袋

一 部隊長以下部隊本部自動貨車ニ依リ新任地ニ向ッテ出
發一六。異常ナク島袋ニ到着
一八。宿營準備完了

- 四一七。聯隊本部島袋ニ開設
 - 五 藤本中尉以下資材追送ノ為渡久地ニ残置
 - 六 柳主計大尉旅團ヨリ前渡金受領
 - 七二二。行軍主カハ丙ビ雨中泥濘ノ夜行軍ヲ開始
- 美田
志氣旺盛ナリ

下達命令

獨混五作命第八五號
獨混五作命第八六號
獨混五作命第八七號

別紙

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍少将
陸軍中將
陸軍大佐
陸軍少佐
陸軍中尉
陸軍少尉
陸軍中士
陸軍少士
陸軍兵

十二月八日
一 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
二 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
三 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
四 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
五 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
六 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
七 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
八 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
九 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置
十 行軍主口ハ前兼入及中口ニ留置

獨混五作命第八五號

獨支混成第十五聯隊命令

島袋 三三三

一軍ハ情勢ノ变化ニ伴ヒ沖繩本島ノ既備ヲ更ス

旅團ハ一部ヲ以テ敵ノ沖繩北及中飛行場占領ヲ妨害スルト共ニ主力ヲ以テ島袋周辺ノ高地ヲ確保シ軍主力ノ進出ヲ掩護シ又ハ軍主力方面ニ對スル機動ヲ準備ス
金武湾及中城湾方面ニ對シテハ一部ヲ以テ直

接其ノ上陸ヲ妨害ス

二聯隊(五及通信班)一部ヲ缺キ海軍第十一砲台處
ハ南地區隊トナリ有カナル一部ヲ以テ竹下東方
高地、白川南方一〇四四高地附近及佐久川
南側高地ヲ前進陣地トシテ占領セシメ主力ハ
胡屋西端附近ヨリ上地西側、勢力頭南方
桑江東方高地ヲ経テ仲山、喜捨場ノ線ニ亘リ
堅固ニ陣地ヲ占領セントス
北地區隊トシテ戰鬥地境ハ比謝川、知花西側

橋梁トシテ東地區隊トシテ戰鬥地境ハ熱田北端
一島袋西南側一胡屋東端一知花西端
ス

又第六十二師團トシテ地境ハ普天間川一安谷屋
南方橋梁一熱田南端トス

三第一大隊ハ右第一線トナリ有カナル一部ヲ以テ竹
下東方高地ヨリ白川南側高地ニ亘ル線ヲ又
各小數兵力ヲ以テ一〇高地及上原東北方松
林高地ヲ前進陣地トシテ占領セシムルト共ニ一部

ヲ以テ西深西方高地ニ以テ領シテ砲兵ノ觀測所
ヲ掩護セシメ主カハ胡屋西側、上地西方及山
内北方高地ニ各堅固ナル據矣ヲ構築スベシ
又小隊長ノ指揮スル約半小隊ヲ以テ嘉加手跡
西側附近ヲ確保セシメ水釜附近ニ小數兵力
ヲ配置シ海上ヲ警戒戒監視セシムルト共ニ陣地
ヲ構築シ陽勤期騎ニ任セシムベシ
四第三大隊ハ左第一線トナリ有力ナル部隊ヲ以テ

セシメ敵ノ西海岸道迂回ヲ阻止スルト共ニ海
軍第十一砲台ヲ掩護セシメ主カハ勢頭南方
九五高地、桑江東方高地及桃原附近ニ各々
據矣ヲ堅固ニ構築スベシ
伴山北側、喜捨場北側△四八七高地ハ約一ヶ
小隊分ノ陣地ヲ構築スルト共ニ妙辺、北谷沿
岸ノ高地端ハ各小數兵力ヲ配置シ主トシテ
海上ヲ警戒戒監視スルト共ニ陣地ヲ構築シ陽
勤期騎ニ任セシムベシ

五、第一線兩大隊ノ戰鬥地域ノ境界ハ鳥袋一
出内前各西端一山内一上原一野里ヲ通スル
片點線路及野國一嘉加手組道ヲ貫スル線

トス

線上ハ右大隊ニ在ス

六、併隊砲中隊ハ前進陣地ノ戰鬥ニ協同スル爲
宇久田西方及野里南方地區ヲ射撃シ得ル如
ク其富士東方附近ニ一門分ノ陣地ヲ主力ハ上
地南方附近及標高九五〇高地ニ各一小隊分ノ

陣地ヲ構築スベシ

七、速射砲中隊ハ其富士方向ヨリ突進スル敵戰
車ヲ阻止スル爲上地西北側標高一〇三高地附
近ニ一門分ノ前進陣地ヲ又上原方向ヨリ突進
スル敵戰車ニ對シ山内西北方不正十字路附近
及瀨頭方向ヨリ突進戰車ニ對シ標高九五〇
高地附近ニ各一小隊分ノ陣地ヲ構築スベシ
諸見里一瑞慶覽間ノ正面以外ハ獨速ノ担任

トス

八五兵中隊ハ山内前南端標高一三三六高地ノ
併隊戰鬥指揮所ノ構築ニ任ズルト共ニ彈
藥糧秣資材格納ノ爲メ山内附近ノ谷地ニ
洞窟掩蔽部ヲ構築スベシ

又一部ヲ以テ各隊ノ爲メ給水施設ニ任ズベシ

九通信班ハ併隊戰鬥指揮所ト旅團司令部
第一線兩大隊及併隊砲中隊速射砲中隊
間ニ重構成ノ通信網ヲ構成シ一〇四四及一〇六七

又嘉手納守備隊及北地區隊間ノ無線網ヲ
準備スルト共ニ軍犬ノ訓練軍鳩ノ馴致ニ任ズ
ベシ

一〇高級軍医ハ給水源ノ調査及水質ノ検査
之ガ標示ヲ担任シ山内附近ニ患者收容所用
ノ洞窟構築ヲ亟處スルト共ニ地方女子青年
團員ヲ以テ補助担架ヲ編成スベシ

二高級主計ハ遂次到着スル糧秣資材ヲ諸見里
ヲ中心トスル地域ノ洞窟内ニ分散集積シ現地自

活地方物資ノ調査獲得ニ任ズベシ
狀況ニヨリ各護附近ニ連絡所ヲ設ケ國頭地方物
資ノ取得ニ任ズ

三兵器委員ハ遂次到着スル兵器彈藥兵器物資
杖整備格納ニ任ジ山内諸見里附近ノ洞窟内
ニ格納シ山内前附近ニ修理工場ヲ開設スベシ
三予ハ暫ク島袋ニ在リ後聯隊戰鬥指揮
所ニ移行ス

獨逸混成第十五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ現地ニ於テ細部指示
シタル後印刷交付

既布先各隊 海軍第十一砲台
報告通報先 ~~XXXX~~ 第六十二師團

東北地區隊 77As A.P. 276
特設敬言備第三四中隊

獨混五作命第八七號

南地 區隊命令

三三八。四。〇。〇
島袋

一 地區隊ハ旅團ヨリ配属セラル、自動貨車ヨリ
聯隊砲及速射砲ノ主力ヲ守備地ニ招致セ
ントス

二 聯隊砲中隊長ハ明九日渡久地ニ残置セル
聯隊砲ノ主力及速射砲ヲ自動貨車ニ依リ
新移駐地ニ追及セシムベシ

成ル可ク多クノ彈藥ヲ前送スルストニ務ムベシ

自勦貸軍ハ明九日渡久地ニ到ル筈
ニ殘留指揮官ハ前頂部隊掩護ノ爲歩
兵ヘケ分隊ヲ聯隊砲中隊長ノ指揮下ニ入ラ
シムベシ

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先各隊 海軍第十(砲台)

報告通報先 ~~47As~~ 東北地區隊 77As A.P.

十二月九日 一。天明行軍主力ハ新移駐地ニ到着直チニ新配備ニ就ク

晴 二。九。〇部隊副官配宿狀況視察

島 袋 三。殘置者ヲ除ク部隊全員異狀ナク到着

四。一三。〇部隊長 山内前諸見里方面地形偵察

(美田)

島 嶽 前

十二月廿日

一。三。時新身 山口南詰良里方面此所察
二。時新身 山口南詰良里方面此所察
三。時新身 山口南詰良里方面此所察
四。時新身 山口南詰良里方面此所察
五。時新身 山口南詰良里方面此所察

十二月十日 晴

島 嶽

一。部隊全般配搭鬼子出區類
二。五。第一大隊長來隊
三。糧秣ノ追及意 然如身ノ甚ク困乏ノ少
四。輸送能力 海上輸送ノ算見ノ大キク遺憾ノ

受 領

獨混部隊命第九號

一。無線電分隊ヲ第一大隊ニ分遣
二。獨混部隊第四十四旅團命令
三。獨混部隊下部隊第三年度要官候補者ヲ集會教育
四。實地教育ノ上ニ其 日中品 練習
五。監督官ヲ教育補助員ニ任命
六。監督官ヲ教育補助員ニ任命
七。監督官ヲ教育補助員ニ任命
八。監督官ヲ教育補助員ニ任命
九。監督官ヲ教育補助員ニ任命
十。監督官ヲ教育補助員ニ任命

教育監督官

美田大佐

教育監督官

菅原少尉

教育監督官

坂本少尉

教育監督官

佐藤少尉

三 第二歩兵隊及獨立混成第十五聯隊、第三年度下士官候補者ヲ十二月十五日又迄ニ赴來團民學校ニ集合セシメ、教官菅原少尉ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

四 服裝携行品左ノ如シ

一 軍裝一、個人裝備、彈藥、携帶口糧、被甲ヲ含ム

二 典念、靴、筆記具、日用品、席具

五 給養食料、十二月十五日迄、獨立混成第十五聯隊野崎部隊担任スルヲ以テ、四、旅團命令

六 教育間、戰鬥開始、左ノ如ク、野崎大尉ノ指揮下ニ入ル

四 細部、團員、對高級部員、之ヲ指示セシム、

三 訓練、旅團長、其ノ、鈴木、少將

二 下達法、一、印刷、交付

一 配給、先、東地南地區隊、七〇七一

下達命令

獨立混成第十五聯隊
日命第二八號

報告先 三十二軍
別紙

獨立混成第十五聯隊 日命令 十二月十日

- 一 第七中隊 陸軍軍曹 佐藤 宗壽
- 二 第二中隊 同上等兵 本澤 一

右軍司令部勤務ヲ命ス

依テ佐藤軍曹ノ引率ヲ以テ十二月十日一四〇〇マデニ旅團司令部ニ到リ、天野副官ノ指示ヲ受クヘシ

個人裝備完備トス

十二月十日

旅團司令部

第一第三九隊 通譯 交替 隊員

一 果裝具各々種類多。發射機銃スシ
 二 編成司令部、歩哨掛、ラツパ各一、歩哨四トス
 四十二月十一日第一大隊上番トシ。ハ、三。迄ニ旅團司令部
 三 到リ天野司令官ノ指示ヲ受テ之ヲ
 四 入
 五 軍司令部
 六 軍司令部
 七 軍司令部
 八 軍司令部
 九 軍司令部
 十 軍司令部
 十一 軍司令部
 十二 軍司令部
 十三 軍司令部
 十四 軍司令部
 十五 軍司令部
 十六 軍司令部
 十七 軍司令部
 十八 軍司令部
 十九 軍司令部
 二十 軍司令部
 二十一 軍司令部
 二十二 軍司令部
 二十三 軍司令部
 二十四 軍司令部
 二十五 軍司令部
 二十六 軍司令部
 二十七 軍司令部
 二十八 軍司令部
 二十九 軍司令部
 三十 軍司令部
 三十一 軍司令部
 三十二 軍司令部
 三十三 軍司令部
 三十四 軍司令部
 三十五 軍司令部
 三十六 軍司令部
 三十七 軍司令部
 三十八 軍司令部
 三十九 軍司令部
 四十 軍司令部
 四十一 軍司令部
 四十二 軍司令部
 四十三 軍司令部
 四十四 軍司令部
 四十五 軍司令部
 四十六 軍司令部
 四十七 軍司令部
 四十八 軍司令部
 四十九 軍司令部
 五十 軍司令部
 五十一 軍司令部
 五十二 軍司令部
 五十三 軍司令部
 五十四 軍司令部
 五十五 軍司令部
 五十六 軍司令部
 五十七 軍司令部
 五十八 軍司令部
 五十九 軍司令部
 六十 軍司令部
 六十一 軍司令部
 六十二 軍司令部
 六十三 軍司令部
 六十四 軍司令部
 六十五 軍司令部
 六十六 軍司令部
 六十七 軍司令部
 六十八 軍司令部
 六十九 軍司令部
 七十 軍司令部
 七十一 軍司令部
 七十二 軍司令部
 七十三 軍司令部
 七十四 軍司令部
 七十五 軍司令部
 七十六 軍司令部
 七十七 軍司令部
 七十八 軍司令部
 七十九 軍司令部
 八十 軍司令部
 八十一 軍司令部
 八十二 軍司令部
 八十三 軍司令部
 八十四 軍司令部
 八十五 軍司令部
 八十六 軍司令部
 八十七 軍司令部
 八十八 軍司令部
 八十九 軍司令部
 九十 軍司令部
 九十一 軍司令部
 九十二 軍司令部
 九十三 軍司令部
 九十四 軍司令部
 九十五 軍司令部
 九十六 軍司令部
 九十七 軍司令部
 九十八 軍司令部
 九十九 軍司令部
 一百 軍司令部

南地區隊命令

島二一〇、一〇〇

一 地區隊ハ渡久地ニ残置シタル戰鬥資材ヲ速急
 ニ追送セシメントス

一 残留指揮者ハ旅團ヨリ配属セラル、自動貨車
 ヲ以テ成ル可ク速ニ左記資材ヲ前送スヘシ
 自動貨車ハ十二月十二日渡久地ニ於テ交付セラル、等

左記

- (1) 通信器材 交換器、被覆線、重構成資材ノ一部
- (2) 工兵器材

爆藥投擲器、爆藥、火焰發射器、重油、
土工器具

(3) 彈藥

聯隊砲彈藥、重機彈藥、重擲及手榴彈

三、兵器委員ハ前項資材宰領ノ爲兵器掛下士官ノ

一部ヲ渡久地ニ派遣スベシ

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ待、後印刷交付

報告通報光 44GBs A P 東北地區隊

配布先 各隊、海軍砲

十二月十一日 一。八三。部隊長第一大隊方面視察

晴 二。部隊副官連絡ノ爲第一大隊ハ

島 袋 三。柴田中尉本部出張

四。第二大隊本部 | 渡慶次郵便局間通信網完成

五。旅團ヨリ重構成材料受領

受領 獨立混成第四十四旅團命令 一ニ、一、一、五、三、

獨立混成第十五聯隊長及特設警備第二四中隊長

八十一月十二日ヨリ當分ノ間左記人員ヲ差出シ嘉子

納連絡所中村中尉指揮下ニ入ラシムヘシ

左記

獨立混成第十五聯隊 下士官 一 兵 一。

特設警備第二四中隊 將校 一 下士官 一

旅團長 鈴木少將

下達法 要旨ヲ待、後印刷交付

獨立混成第十五聯隊

美田

配職者 報吉先 以

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十二月十二日

雨

島袋

偵察

一。八三。因澤大尉地形偵察

二。一三。部隊長部隊副官岡澤大尉帶同地形

三。第三大隊長末隊

四。入換機到着 交換開始各線整理終了

五。渡久地ヨリ九二重機炭包一五六。袋外各種敷

斗資材自動貨車一輛分到着山内洞窟内ニ格納

獨立混成第四十四旅團命令

一。旅團司令部ノ諸施設ヲ促進セントス

二。旅團工兵隊長ハ前項諸施設ノ構築ニ任スヘシ

特ニ△四八高地展望所ハ堅固ニ之ヲ設備スルヲ要ス

三。細部ハ部員ヲシテ指示セシム

旅團長 鈴木少將

印刷交付

下達法

...

...

醜權志

南東北地區隊

報告先

三三單

別紙

下達命令

獨立混成隊第九號

(美田)

獨立混成隊第九號

第一旅團

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部 第一旅團司令部 第一旅團司令部

第一旅團司令部

獨立混成隊第十五聯隊命令

一、旅團八隸下部隊第二年度下士官候補者、集合教育ヲ實施ス

二、聯隊八獨混四旅作命第九七號ニ基キ第二年度下士官候補者ヲ右ノ集合教育ニ参加セシメントス

三、各中隊長ハ候補者ヲ十一月十五日夕迄ニ越來國民學校ニ集合セシメ、營長少尉ノ指揮ニ入レ教育ヲ受ケシムヘシ

四、野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

五、候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ

候補者ノ分遣其ノ他細部ニ関レテハ副官ヲシテ指示セシム

野崎大尉ハ教育隊教育間戰闘開始ニ方リテハ之ヲ指揮下ニ入レ戰闘ヲ遂行スルト共ニ十二月十五日夕以降教育隊ノ給養ヲ自隊ニ於テ担任スヘシ